

ページ増加でさらに充実!
短時間でつくる
題材でできること

今号では、『美術資料』における「短時間でつくる」題材の活用について、著者の横田学先生から解説していただきます。



よこた まなぶ
横田学先生

プロフィール

これまでに、京都市立芸術大学教員（2002～2020年）、京都府立学校教諭、京都府教育庁指導部学校教育課指導主事、高等学校学習指導要領解説作成協力者（文部科学省）、評価規準研究開発協力者（国立教育政策研究所）、中央教育審議会教育課程部会芸術ワーキンググループ委員などに携わる。現・京都市立芸術大学名誉教授。

Q.1 題材には、どのようなものがありますか？

A 「比較的時間をかけずに制作できる題材」として10 題材を掲載しています。いずれも短時間でも学びを深めることのできる内容となっていますが、特徴などはさまざまです。それぞれの題材の概要を以下にまとめました。

ページ	題材名 [内容]	概要
39	「情景を描く」絵の具で心の空を描いてみよう [絵画]	○生徒にとって「空」は身近な存在であるとともに、思い出の空、空想の空、物語の中の空など、一人一人独自のイメージを展開することができる ○思い描いた「空」のイメージを、さまざまな水彩絵の具の技法、スパッタリング・ドリッピング・吹き流しなど既習の表現経験を生かし創意工夫して描く
41	石の動物を描く [絵画 / 立体に描く]	○自然物（石）の形から見立て発想・構想して描く ○自然物のもつ形の面白さを発見し、表現に生かす
42	感情や感じ取ったイメージを、溶かしてぼかす色鉛筆で表現してみよう [絵画]	○準備物が少なく手軽な色鉛筆を使用する ○油彩に使う溶き油で、ぼかしの技法が簡単に実現できる ○重色・混色などにより複雑で豊かな色彩表現が可能 ○P.39「情景を描く」にも応用できる
63	スチレンボードを使って回転版画をつくろう [版画]	○同じ版で色を変え、90°ずつ回転して刷る ○色の組み合わせや刷る色の順番を変えるなどして創意工夫することができる ○三原色カラー（C・M・Y）を使うと色彩の学習にも繋がる
68	バルサ材を使って「にぼし」をつくる [彫刻]	○柔らかく彫りやすいバルサ材を使用 ○正確な形や大きさではなく、あくまでもにぼしの表情（らしさ）の表現を追求する ○P.67「ものの表情をとらえる（そっくりにつくる）」と関連させることもできる
69	石けんを使って抽象彫刻をつくる [彫刻]	○石けんは100円ショップなどでも入手でき、家庭学習の課題にも使用できる ○削ったかけらや粉などはネットに入れ、水道の蛇口に吊るせば手洗いに再利用できる
77	七宝のブローチをつくろう [工芸]	○七宝は焼成時間は短い、通常の授業では指導が難しい ○美術クラブの活動として、文化祭や新入部員の体験制作などに活用できる
83	消しゴムはんこ（スタンピング）で連続模様をつくろう [工芸 / デザイン]	○染色の技法（プリント柄）などで連続模様の良さや面白さを鑑賞し、制作につなげる ○小さな版を連続して押すことで、大きな面積を装飾することができる
87	メッセージを伝えるイラストレーションを描いてみよう [デザイン]	○SNSなどのスタンプとして生徒にも身近で導入しやすい ○同じキャラクターで喜・怒・哀・楽などのバリエーションを構想する
97	ピクセルアート [デザイン]	○一人1台のタブレット PC などが整備された学校では、最初の表現の授業での活用として指導しやすい内容 ○絵文字やアイコンなどの拡大画像を見せると理解しやすい ○P.87「メッセージを伝えるイラストレーションを描いてみよう」の制作にも活用できる

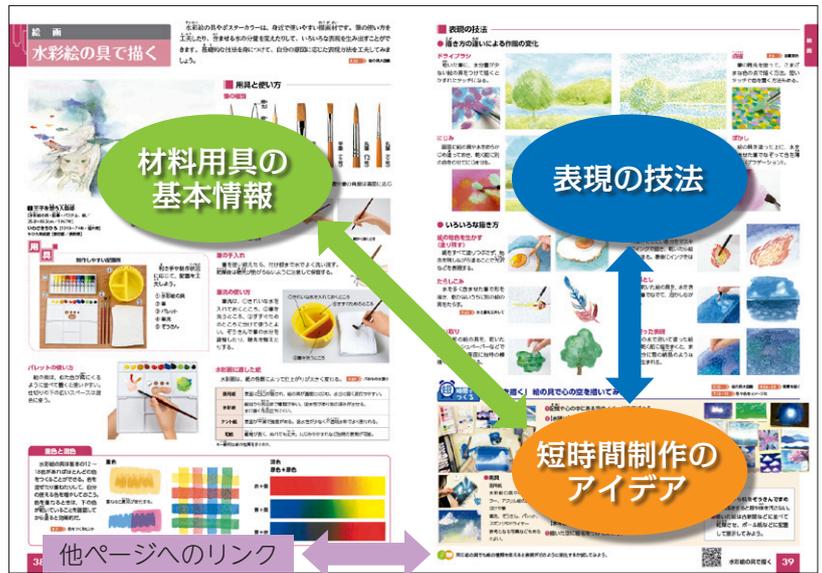
Q.2 題材には、他の題材のような材料や用具・制作手順などの詳しい説明がありません。どのように指導すればよいでしょうか？また追加の資料などはないのでしょうか？

A 「短時間でつくる」題材は、掲載しているページで解説している分野、材料・表現技法などに関わり、「比較的時間をかけずに制作できる」ためのアイデアを先生方に提案しているものです。使用する材料や用具・制作手順などほとんどの情報は、そのページの説明が活用できるものとなっています。

もちろん、授業の前の教材研究は必要不可欠ですが、基本的に制作に必要な時間が短い題材ですので、教材研究も短時間で実施できるはずですが、さらに関連する他のページについても、リンク情報を掲載しています。



例えばP.39『「情景を描く」絵の具で心の空を描いてみよう』では、右の図のようになります。



水彩絵の具 用具と使い方 ※ポスターカラー・アクリル絵の具を使用する場合はそれぞれのページの「用具と使い方」を参照

水彩絵の具 表現の技法 ※ポスターカラー・アクリル絵の具を使用する場合はそれぞれのページの「表現の技法」を参照

P.89 水張り P.13 ドリッピング
P.18 グラデーション P.88 溝引き

■比較的時間をかけずに制作できるためのアイデア■

- 「心の空」をテーマ設定する
 - ・「空」は身近でイメージしやすい（導入が容易）
 - ・形や細部にとらわれず表現できる
- 材料や用具について
 - ・机に直接張り込む（※材の材質によってはビニールマットなどを使用）
 - ・使い慣れた水彩絵の具（ポスターカラー・アクリル絵の具）などを使用

Q.3 題材に紹介されている材料や用具などが美術室にありません。短時間の授業のために新たに購入することが難しいのですがどうすればよいでしょうか？

A Q2の回答にもあるように、「短時間でつくる」題材は「比較的時間をかけずに制作できる」ためのアイデアの提案です。材料やテーマ設定などは、それぞれの地域や学校、生徒の実態に応じて変化させることが可能です。比較的短時間で行う題材では、そのテーマや使用する材料、技法などについて右表のようなことをポイントとしています。

みなさんも、身近なテーマや地域の材料を使った「短時間でつくる」題材に挑戦してみてください。

また、先生方が実践しておられる『美術資料』を活用したユニークな「短時間でつくる」題材などがございましたら、是非以下の「お問い合わせフォーム」よりお聞かせください。



	比較的短時間の制作のために
テーマ設定	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒にとって身近な存在であるもの <ul style="list-style-type: none"> ・日常見慣れたもの、よく知っていると思うことに今一度目を向けさせ、その良さや美しさを再認識させることも美術の授業では大切です ○多くの生徒が普段から興味関心を持っているものやことに関連するもの <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味関心に迎合してばかりではいけません、導入を容易にしたり、制作に対してのモチベーションを上げたりするには大切な視点です
材料や技法など	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでに使用経験のあるもの（既習の学習経験を生かす） <ul style="list-style-type: none"> ※新しい素材や材料、技法などは時間をかけて挑戦させたい ○抵抗感（材料が硬く加工が難しい、制作手順が複雑など）の少ない材料 <ul style="list-style-type: none"> ・P.63 スチレンボード（回転版画）、P.68 パルサ材（にぼし）、P.69 石けん（抽象彫刻）など ※他の題材の端材などのストックも短時間題材に生かせる場合がある ○家や学校の近くで容易に入手できるもの <ul style="list-style-type: none"> ・自然物（石や落ち葉など）、端材など地域で安価に入手できるもの ○準備や後片付けに手間が少ないもの

NEXT 次号「まなび! net」でも、短時間でつくる題材の具体的な展開例や評価などについて掲載します。

秀学社の美術学習サポート 授業だけでなく家庭学習などにもご活用ください。

●『美術資料』の詳細や、ワークシートなど各種ダウンロード資料を提供しています。

秀学社Webサイト <https://www.shugakusha.co.jp/>

まなび! net へのご意見や著者へのメッセージ、ご質問など、「お問い合わせフォーム」よりお気軽にお寄せください。

先生の声をお聞かせください。

お問い合わせフォーム **ココから!** https://www.shugakusha.co.jp/form_otoiawase/